

令和7年度第1回山陽小野田市公立大学法人評価委員会議事要旨

- 1 日 時 令和7年8月7日（木曜日） 17:00～18:10
- 2 場 所 山陽小野田市立山口東京理科大学 1号館 2階 大会議室
- 3 出席者 委 員 堤委員、濱口委員、藤村委員、藤本委員
事務局 河田次長、大坪主幹、橋本主任主事
公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学
池北理事長、武田学長、佐々木事務局長、芳司事務局総務部長、森事務局管財部長、貞重事務局教育推進部長、吉村事務局学生支援部長兼研究推進部長、大谷事務局地域連携推進部長、八鍬監査室長、野田事務局総務部総務課長

－開会－

4 議 事

- (1) 委嘱状交付
- (2) 委員長及び委員長の職務を代理する委員の選任
委員の互選により堤委員が委員長に、委員長の指名により濱口委員が委員長の職務を代理する委員に選任された。
- (3) 令和7年度のスケジュール（予定）について
令和6年度業務実績に関する評価報告書の作成等に当たり、予定されている会議スケジュールについて事務局より説明があった。（参考資料3）
- (4) 法人理事長及び学長あいさつ
- (5) 議題（1）公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学 令和6年度業務実績報告書 第9期事業年度について
業務実績報告書（資料1－1）について法人より説明を受けた後、質疑等が行われた。
主なものとしては、学生のボランティア活動の依頼受付について、依頼件数69件と比べ、実際に学生が参加できたものは53件とあるが、すべてに参加できなかった理由は、との質問に対し、学生の定期試験期間中での依頼であったことなど、時期的な要因が大きい、との回答や、

山口県内のインターンシップの参加者について、工学部の学生（１０１人）と比べて、薬学部の学生（１８人）が少ない理由は、との質問に対し、実習期間と重なっている点や実習がインターンシップのような側面を持っている点、受入先の企業が少ない点が要因と考えられる、との回答、学部入試の試験会場について、神戸会場、北九州会場を廃止し、鹿児島会場を新設した理由は、との質問に対し、神戸会場を廃止した理由については、もともと神戸会場には大阪の志願者が多く集まっており、大阪会場を設けたことで、神戸会場から大阪会場に多くの志願者が流れたため、北九州会場を廃止した理由については、近くに福岡会場と本学があり、その２会場で賄えると判断したため、鹿児島会場を新設した理由については、志願者動向を確認した結果、鹿児島から本学に進学をする方が多かったため、との回答があった。

また、委員からは、研究に対する指標として科学研究費補助金（科研費）の申請率を挙げているが、現在科研費を受けている教員は重複して申請ができない場合が多いことから、申請率が下がってしまい、申請を出さなくなったと誤解される可能性もあるため、申請率ではなく、科研費の保有率等を指標にしたほうがいいのではないかと、この意見があった。

－法人退席－

（６）議題（２）公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学役員報酬基準の変更について

改正された役員報酬（資料２－１・２－２）について事務局より説明を受けた後、委員による審議が行われ、意見なしとされた。

（７）その他

次回会議で事務局が作成した評価書の案をもとに審議を行うため、事務局より、評価書（事務局案）の作成にあたり、業務実績報告書中の「項目別業務実績」について、あらかじめ委員に評価を行ってもらい、委員評価表（資料１－２）を集約したい旨連絡があった。

－閉会－